

科目名	部落差別の成立と展開	単位数	2	授業 形態	講義	担当 教員	上杉 聡（非常勤）
英語表記	History of Discrimination against Buraku						

### ●科目の主題

被差別部落とそれを生みだした社会の歴史について、学生諸君は小、中、高の段階である程度学んできたと思う。「士農工商えた非人」のピラミッド図式や、部落の始まりは江戸時代の初めにあるなど、聞き飽きた人がいるかもしれない。

だが、部落の歴史研究は、とくにこの30年間めまぐるしく進展し、そうした固定観念は大きく変えられている。本講義では、最先端の研究成果をもとに、部落差別とは何か、そしてその始まりと歴史（中世から現在まで）について、平易に、しかし本格的に、学問として検討したい。

### ●授業の到達目標

どんな物事においてもそうだが、歴史を知ること、現状を知り、将来の展望を導き出すために不可欠だ。大学に学んでいるこの機会に、部落問題をいちど根底から考えてみたい、また本格的に取り組んでみたいと考える諸君に、ぜひとも歴史学（実証と全体性）を通して深く考える方法を知ってもらいたいと考えている。

### ●授業内容・授業計画

- 第1回 なぜ部落の歴史を勉強するのか
- 第2回 「士農工商穢多・非人」のまちがい
- 第3回 「社会外」という部落のあり方
- 第4回 「部落は江戸時代に作られた」のまちがい
- 第5回 中世の部落の姿
- 第6回 戦国時代に部落に生じた変化
- 第7回 差別制度が江戸時代に本格化
- 第8回 討論
- 第9回 差別のゆるみと強制
- 第10回 賤民制度の廃止と限界

第11回 近代の差別と水平社の挑戦

第12回 日本国憲法と戦後の部落

第13回 大阪市立大学と部落差別

第14回 被差別部落からのお話（外部講師）

第15回 予備

### ●事前・事後学習の内容について

おおむね1回の講義で教科書の1章を取り扱う。各章は講義内容と史料に分かれているので、少なくとも講義内容を読んで予習しておくこと。史料も、むつかしい単語には注を付けているので、だいたい理解をしておけば、確実に講義に付いていくことが出来る。事後は、史料の分からなかった箇所をもう一度読み返し、講義内容と史料とを結びつけることが出来れば学習は完了する。

### ●評価方法

期末試験（50点満点）と出席（50点満点）で評価する。

### ●受講生へのコメント

真実を人々を自由にする。厳しく不条理な差別の歴史だが、それを根底から考え直すとき、私たちの精神は自由となり、解放される。部落の歴史を知ることは楽しい。もし、お説教やドグマを求めて講義を受けに来る人がいれば、その人をガッカリさせてあげたいし、大学らしい知性溢れる授業にしたい。ただし、採点は厳密に行い、不勉強かつ欠席が多い場合は容赦なく欠点にします。

### ●教材

教科書（毎回授業で使用し、試験にも使用するので、必ず入手ないし購入すること）  
上杉 聡『これでわかった！部落の歴史』（解放出版社）  
参考書

上杉 聰『これでなっとく！部落の歴史』（解  
放出版社）